

烏川・神流川 流域治水プロジェクト

烏川・神流川流域を水災害から守るために、
新しい治水対策「流域治水」が始まっています

流域住民と共に
「流域治水」
を一層推進

烏川・神流川流域治水協議会



国土交通省 関東地方整備局
高崎河川国道事務所
〒370-0841 高崎市栄町6-41
TEL.027-345-6000(代) FAX.027-345-6085
<https://www.ktr.mlit.go.jp/takasaki/>



烏川・神流川 流域治水プロジェクト

山地での対策

近年、気候変動の影響により全国各地で毎年のように水害や土砂災害が発生しています。烏川・神流川流域は山地と平地が組み合わさっているという特徴があり、山地では土砂災害、平地では洪水氾濫などが今後増大する可能性があります。地域の皆様の命と暮らしを守るためには、国や自治体等の取組だけでは限界があります。そのため、国、流域自治体、企業、住民の方々等のあらゆる関係者が協働して、流域のあらゆる場所で取り組む治水対策「流域治水」を推進するため、令和2年8月に「烏川・神流川流域治水協議会」を発足し、取組を進めています。

住民参加

烏川・神流川流域における水防災フォーラム

～流域治水と地域づくりを考える～

流域治水の取組等について、地域住民のみならずと一緒理解を深めるため、基調講演、屋内展示、マイ・タイムライン作成会等の内容を盛り込んだ水防災フォーラムを開催しました。



流域治水パネルを見る参加者

住民参加型現地視察会

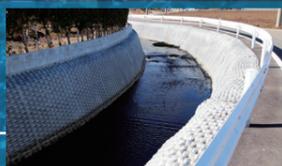
流域治水プロジェクトのメニューである藤岡市防災公園の完成後、現地視察会を開催し、地域住民(区長)と意見交換を実施しました。



現地視察会の開催状況

神川町 浚渫等河川整備

神川町が管理する河川は土砂がたまりやすく、令和元年10月台風第19号の時には、土砂で狭くなった河川から越水して、町道や県道に土砂が流出し、また、護岸も損傷しました。そのため、堆積した土砂の撤去や壊れた護岸の復旧を行いました。



整備された金鑽川

藤岡市 防災公園の整備

平常時は市民のレクリエーションの場としての利用ができ、災害発生時には緊急避難の場や、食料や飲料水などの災害支援助物資の集配拠点、応急仮設住宅用地として活用できる防災公園を整備しました。



令和3年7月に供用を開始した防災公園

上里町 防災ガイド・ハザードマップ改訂

災害や避難に関する知識や対策などの学習情報を追加し、個人の避難行動計画「マイ・タイムライン」も盛り込みました。また、英語版、ポルトガル語版も作成して地域の方に配布しました。



改訂されたハザードマップ

玉村町 河川監視カメラの運用

令和元年10月台風第19号による内水氾濫で浸水被害が発生した矢川樋管(五料)と高橋川(上福島)等に河川監視カメラを設置し、5~10分おきに撮影した画像を町ホームページで公開することで、早期避難を促します。



監視カメラが設置された矢川樋管

前橋水源林整備事務所 森林の整備・保全

流域の氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策として、伐採などの森林整備を計画的に行い、森林土壌などの保水力の強化や土砂流出量の抑制を図っています。



整備された水源林

富岡市 避難のための各種マニュアル作成

令和元年10月台風第19号での土砂災害の教訓を活かして、「避難行動マニュアル」、「避難所開設・運営マニュアル」、「自主避難計画」といった各種マニュアルを作成しました。



作成した各種マニュアル

水資源機構 下久保ダム管理所 事前放流などの防災操作

台風などにより下流の河川があふれ洪水になるのを防ぐために、事前放流などのダムの機能を最大限に活かした防災操作を行います。



神流川に整備された下久保ダム

平地での対策

国土交通省 高崎河川国道事務所 烏川上流築堤

高崎市寺尾・根小屋地区は、烏川の堤防が無い区間で、過去に浸水被害が発生しました。烏川上流築堤事業は、堤防の無い区間の堤防を整備して浸水被害を防ぎ、地域の安全性の向上を図ります。



堤防の整備状況

高崎市 排水ポンプ車による作業訓練

台風や集中豪雨時に発生する浸水や冠水被害に対応するため、高崎市では排水ポンプ車を3台配備し、出水に備えています。毎年出水期前には排水ポンプ車による作業訓練を実施しています。



市が配備した排水ポンプ車